

市政報告会



菜の花まつりの一コマ
3月19日(日)

- ①調べる
- ②伝える
- ③変える

古賀市議 むま健司

2017年4月29日(土)
リーパスプラザこが・103洋室



一般質問の一コマ
3月21日(火)

市政報告会のプログラム

オープニング

コカリナの音色をお聞きください

ぬま健司の
市政報告

ビデオレターも見てください

フリートーク

おしゃべりタイムです

オープニング

コカリナの音色をお聞きください



ぬま健司

市政報告

一般質問



中村市長と真剣に議論

「健康と地域」ビジョンを目指して

3月21日の一般質問の記録パンフレット「提言詳報（第6弾）」を発行。本日お渡しします。

情報は「まちづくりのビタミン剤」

ぬまけんの古賀市に乾杯 ビデオレター









3月定例議会のポイント

健診の自己負担
古賀市引き下げ
 17/2/24 西日本
 古賀市は23日、総額196億7300万円の2017年度一般会計当初予算案を発表した。総額は前年度比0.2%増。27日開会の定例議会に提案する。

主な事業は、船原古墳の広場(約4千平方メートル)整備工事(2600万円)▽特定健診や一部のがん検診の自己負担を500円に引き下げる「ワンコイン健診」の導入(4900万円)▽西鉄宮地岳線跡地の道路設計委託(1455万円)など。

定例議会の会期は3月27日まで。一般質問は同16、21、22日。

特定健診	500円
船原古墳広場	2600万円
宮地岳線跡地	1455万円

国史跡整備など
 17/2/24 朝日
 古賀市は23日、196億7300万円(前年比0.2%増)の新年度一般会計当初予算案を発表した。昨年、国史跡に指定された船原古墳の広場整備に着手する。

船原古墳の埋納坑では国内に類例が少ない豪華な馬具類が多数出土した。古墳一帯を広場として整備する工事費2600万円を計上。馬の模型も600万円かけて製作する。

宮地岳線跡地を道路として整備することにし、設計委託費1500万円を盛り込んだ。特定健診やがん検診に対し、自己負担を千円未満の「ワンコイン」に引き下げる経費として4900万円を計上。新年度が市制施行20周年に当たることから、市史編纂事業にも着手する。

(馬郡昭彦)

2017年度一般会計予算案

歳入	196億7300万円 (+0.2%)
市税	67億6600万円 (+1.2%)
地方交付税	29億7800万円 (△4.9%)
ふるさと応援寄付	3億円見込み
市債	12億4700万円 (△39%)
財政調整基金	取り崩し8億5400万円 (3倍)
歳出	55億9200万円 (+6.9%)
扶助費	55億9200万円 (+6.9%)
公債費	13億6500万円 (+1.8%)
投資的経費	15億1800万円 (△41.7%)

3月定例議会のポイント

2017年度・平成29年度予算のキーワード
「将来の布石となる事業」（24件）

①健康、子育て

ワンコイン、骨髄ドナー補助、認定ども園、病児保育、
高校入学支度金拡充、（全小中学校全学年の35人以下学級）

②環境

消化ガス発電、（バイオマス発電検討）

③防災

防災士育成、災害対策室設置

④観光

船原広場、観光拠点道の駅設置可能性調査

⑤インフラ

公共施設の維持・補修、路面空洞化調査、宮地岳線跡地着手

「まちづくり基本条例案」は**継続審査**に
（4月1日施行を延期させる）

西鉄路線バス補助金に対し「**決議**」
（減便に対する対策を求める）

中村市長提案

後期基本計画重点プロジェクト
2017年～2021年

① 地域活性化プロジェクト

② 快適安心プロジェクト

③ 子どもすこやかプロジェクト

④ 暮らし支え合いプロジェクト

⑤ 生涯活躍プロジェクト

健康と地域 ビジョン

(奴間健司提案)

① 健康で安心して暮らせるまち

② 子育て、子育ち、若者の希望

③ にぎわいと活力・農商工連携

④ 防災・防犯・環境・平和

⑤ 文化・スポーツ・生涯学習

⑥ 計画的行財政運営・市民参画

健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育ち、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

2025年問題への備え
健康寿命延伸都市こが



健康と地域 ビジョン

(奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育て、若者の希望

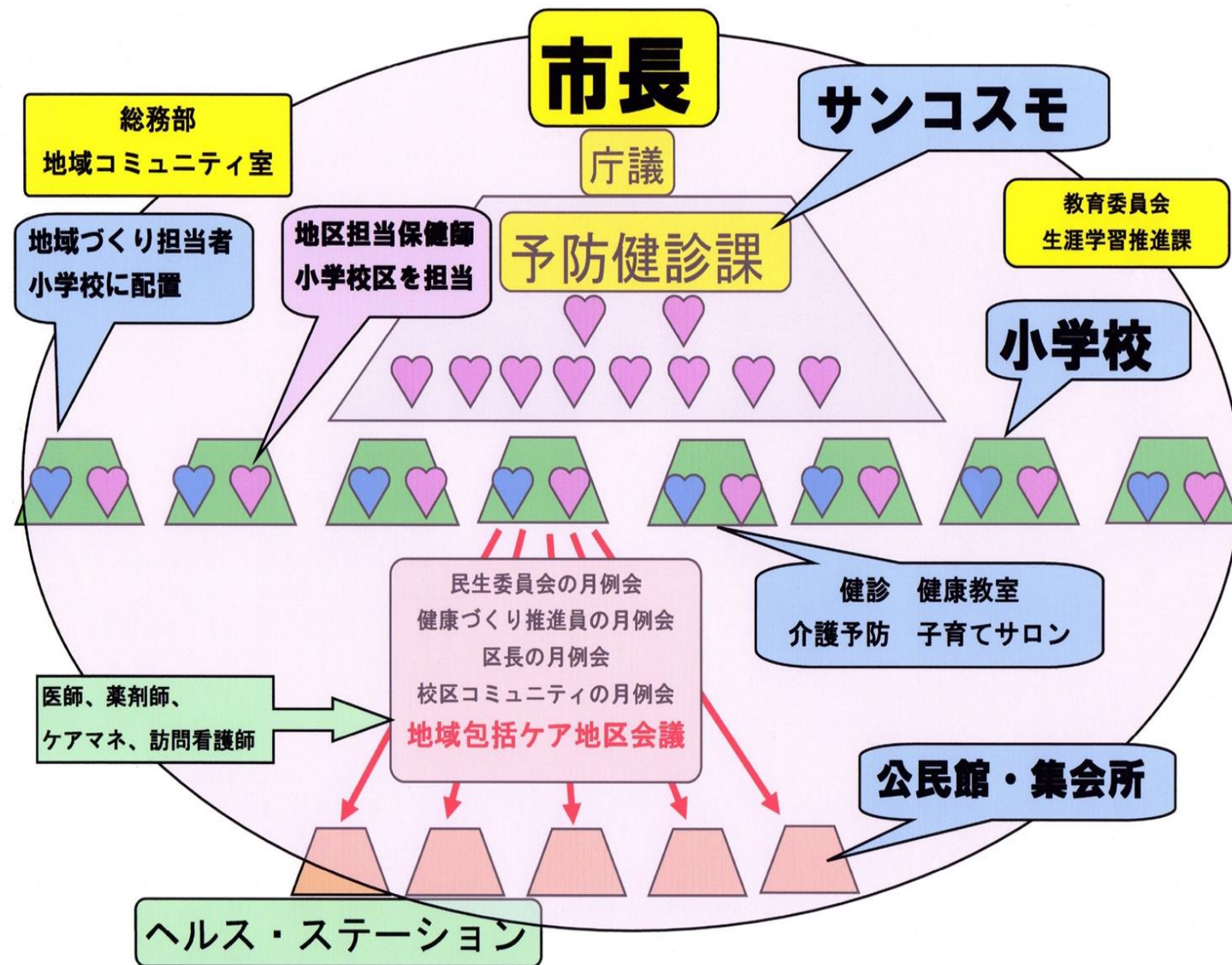
③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

地区担当保健師
地域づくり担当者
小学校の活用



健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育て、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

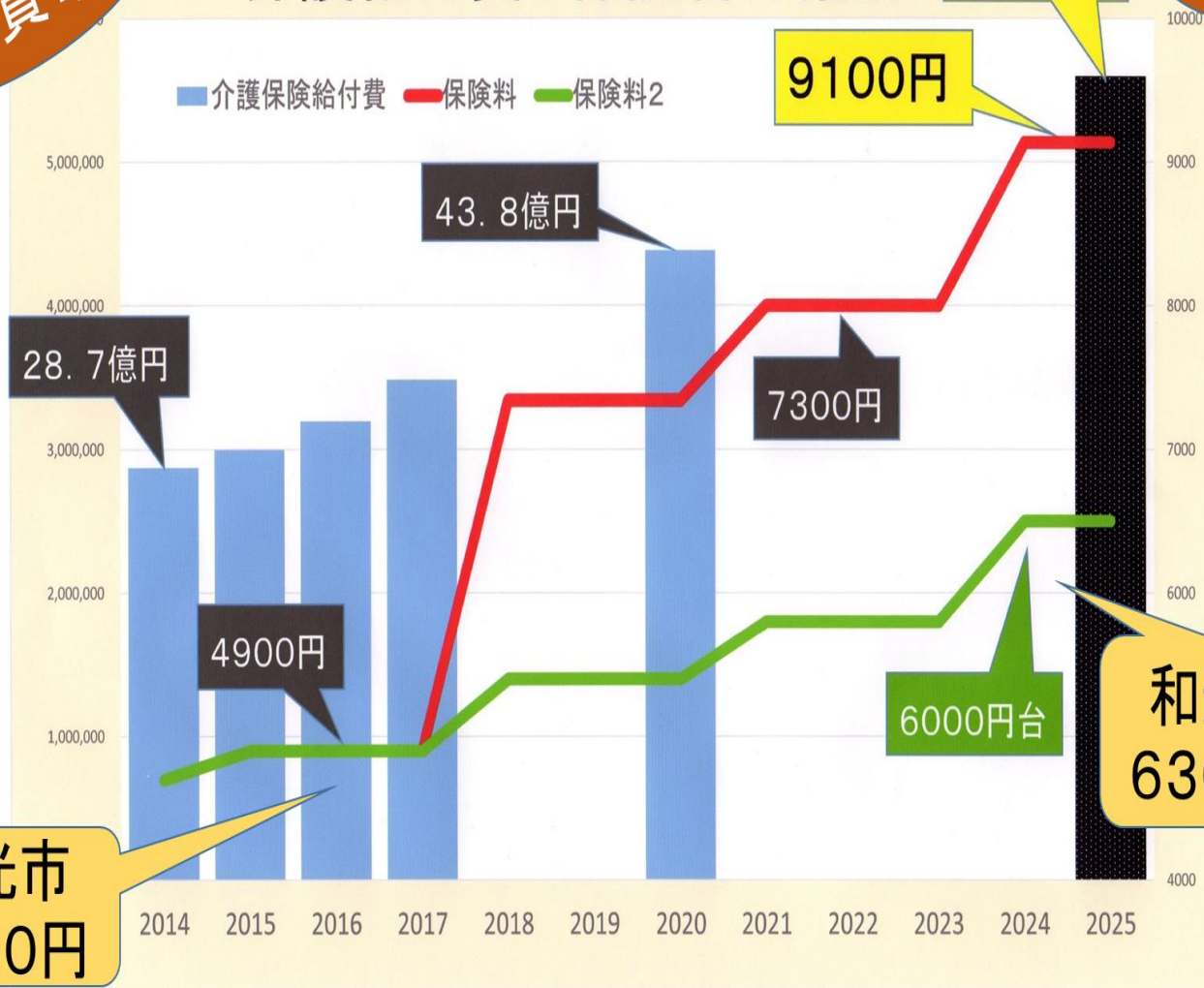
子どもの頃からの健康づくり
介護予防・認知症予防の徹底

古賀市

介護給付費と保険料の推計

56億円

2025年
問題



和光市
4300円

和光市
6300円

健康と地域 ビジョン (奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育て、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

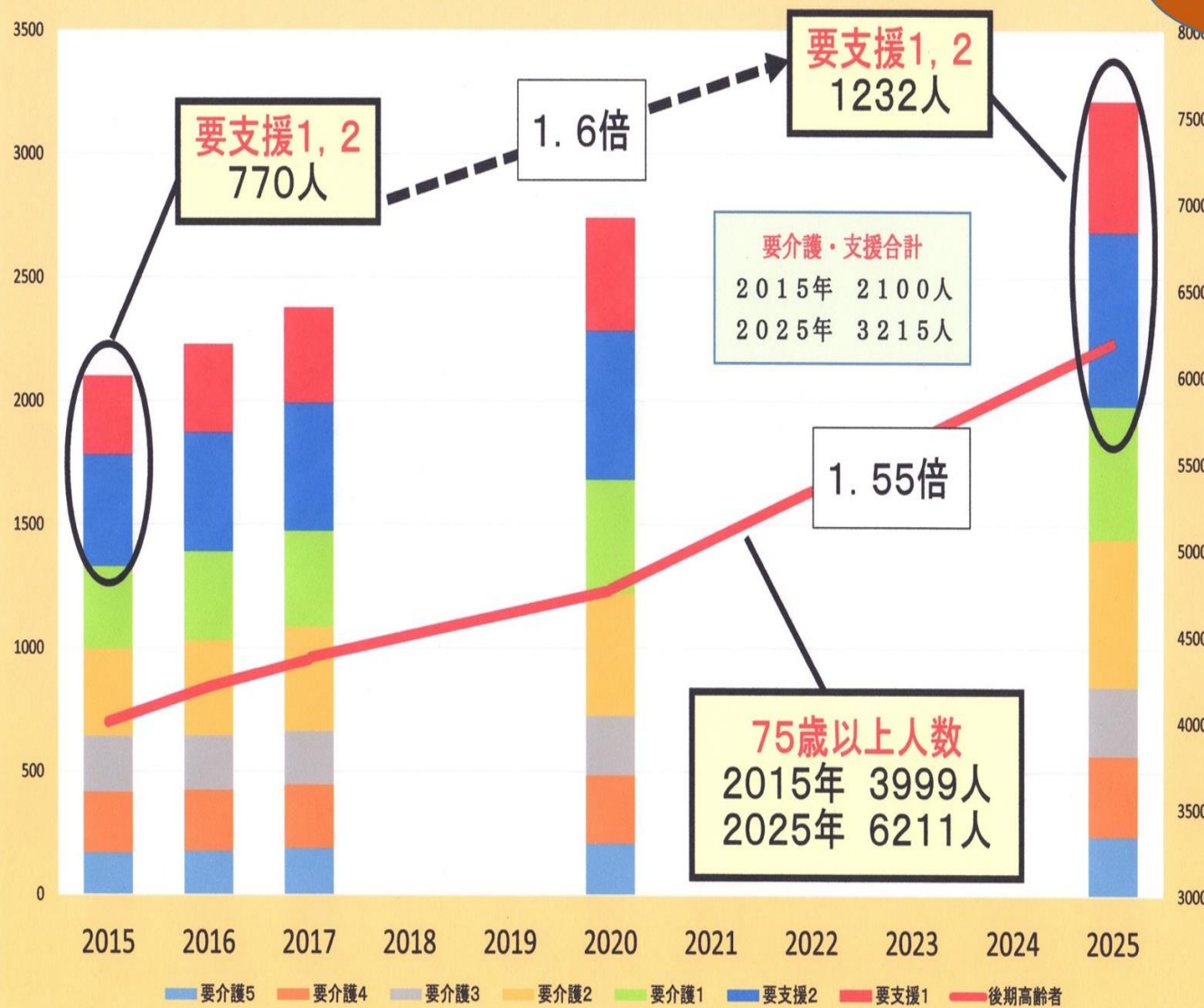
⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

子どもの頃からの健康づくり
介護予防・認知症予防の徹底

2025年問題・古賀市の要介護・支援の人数推計

2025年問題



健康と地域 ビジョン (奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育て、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

特定健診、がん検診の
受診率アップ

特定健診・がん検診自己負担額

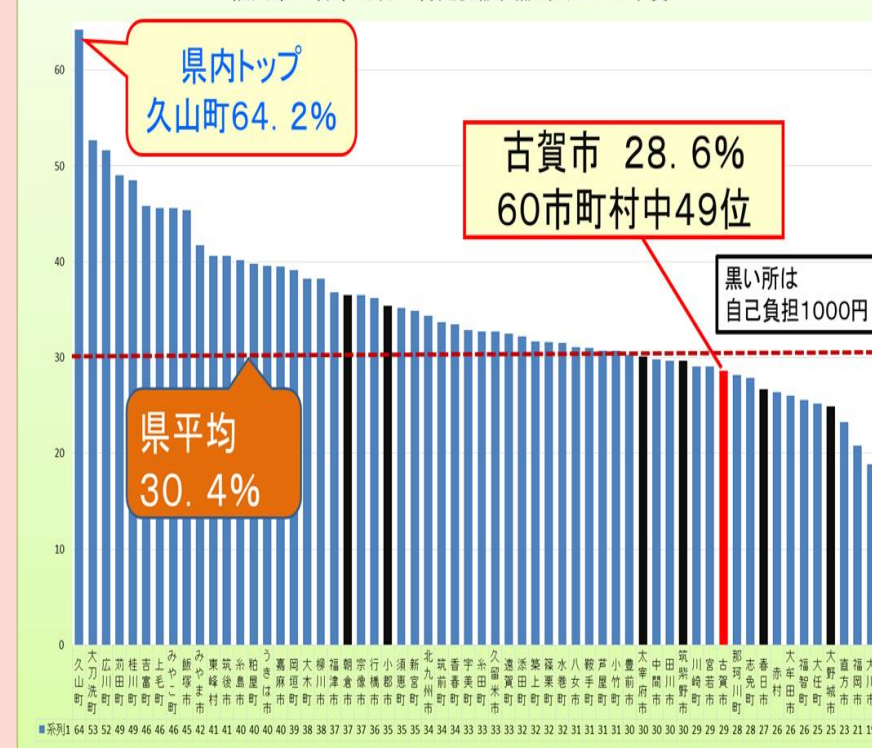
○集団健診自己負担

	年齢	H28	H29
特定健診	30~	1,000	500
胃がん	40~	800	500
	70~	400	200
大腸がん	40~	500	500
	70~	200	200
子宮頸がん	20~	600	500
	70~	300	200
乳がん	40~	1,500	1,000
	50~	1,000	500
	70~	500	200
肺がん	40~	400	500
	70~	200	200
肺がん+喀痰	40~	1,200	1,000
	70~	600	400
肝炎	41~	500	500
骨粗しょう症	節目	600	500

○個別健診

	年齢	H28	H29
特定健診	40~	1,000	500
大腸がん	40~	500	500
	70~	200	200
子宮頸がん	20~	1,600	1,000
	70~	800	500
乳がん	40~	1,900	1,500
	50~	1,600	1,000
	70~	800	500

福岡県内各市町村の特定健診受診率(2015年度)



2016年12月議会で特定健診の自己負担軽減を提言

その他委託料(がん検診など) 2665万9千円 前年度予算(40,342)から1363万円減額

特定健康診査委託 2235万3千円 前年度予算(28,382)から602万9千円減額

健康と地域 ビジョン (奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育て、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

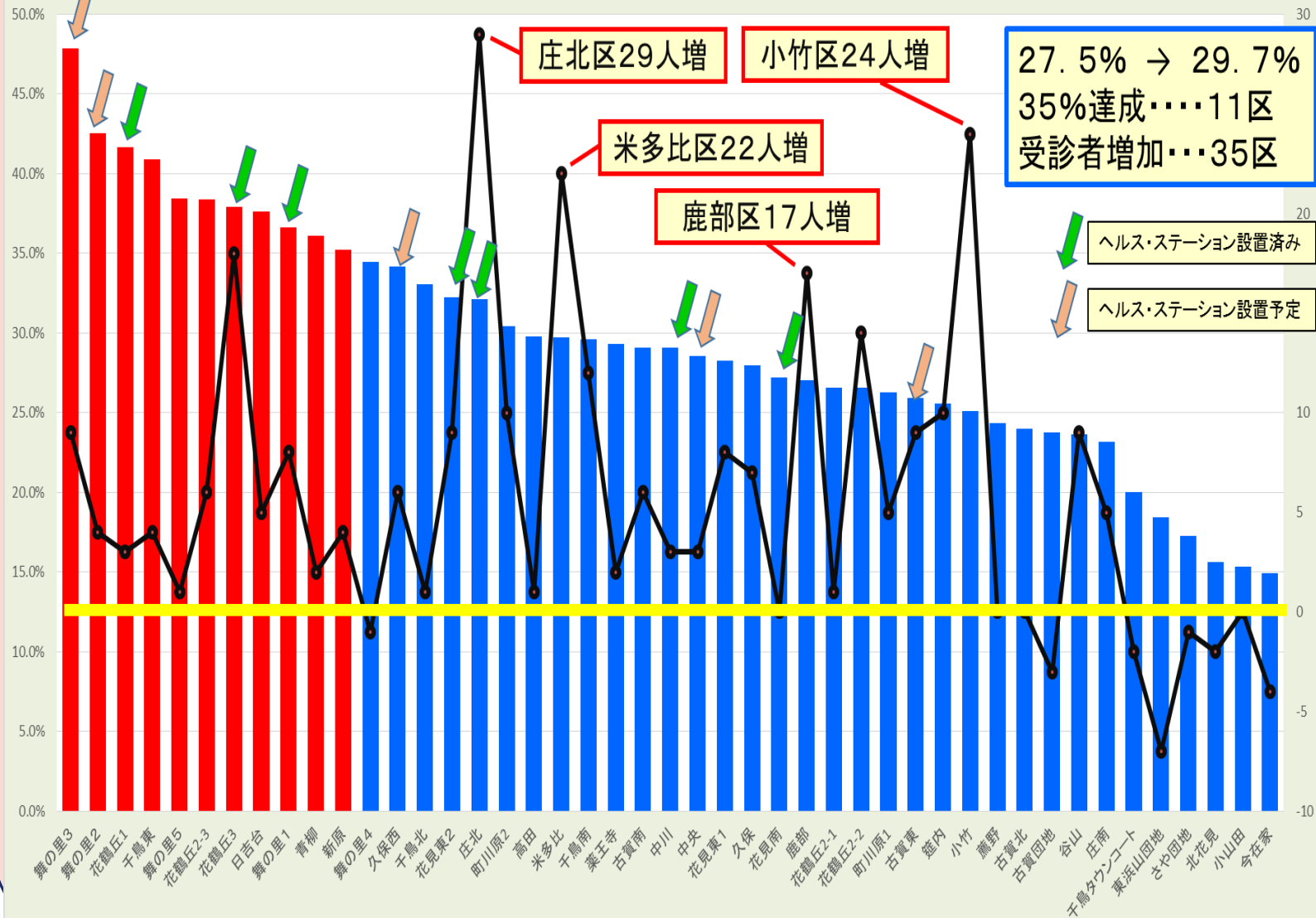
④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

市内各地域の実情に応じた
健康づくり

古賀市行政区別特定健診受診率と受診者数増減(2017年2月現在)



健康と地域 ビジョン (奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育て、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

対象者の把握 訪問活動の徹底

地域健康 センター

ヘルス ステーション 推進員

介護施設

訪問看護

主治医

健診

全住民対象 実態調査 マップづくり

保健師の 地区活動

地区診断

地域包括 ケア会議

訪問活動

訪問活動

訪問活動

管理栄養士

歯科衛生士

薬剤師

外出困難者

気になる高齢者

健診未受診者

子ども

障がい者

生活困窮者

大切な公民館、集会所での活動



- ①保健師から直接保健指導などを受けた市民は大変喜んでいる
- ②一方、保健師がどのような仕事をしているか知らない市民も多い
- ③他自治体で保健師の定期的訪問を受けていた市民が、古賀市に引っ越してきて訪問がないため疑問を感じている市民も中にはいる

大切な子どもの頃からの取り組み



看護大学の支援が大きな力

小野小学校で全児童が骨密度などを測定（12月12日）
看護大学の協力で5年間に渡って継続記録
看護大、予防健診課、健康づくり推進員の共同作業

22

測定結果をお友達
と見せあっこ



企業誘致推進本部

健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育ち、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

中村隆象市長の答弁
「検討体制を変えること
は考えていない」

市長をトップとする健康づくり推進本部
(司令塔)

2018年度から数年単位の重要計画
古賀市健康政策の根幹

第2次健康増進計画

特定健診等実施計画

食育推進計画

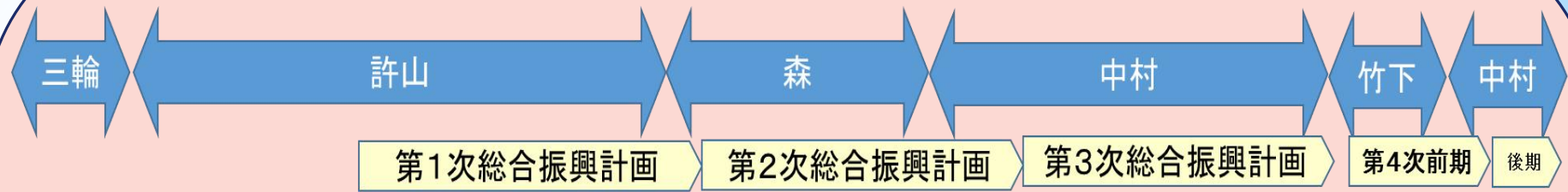
国保データヘルス計画

12ヶ所のヘルステ
設置・運営

特定健診受診率
35%達成

健康づくり推進協議会(有識者等15人、年4回)

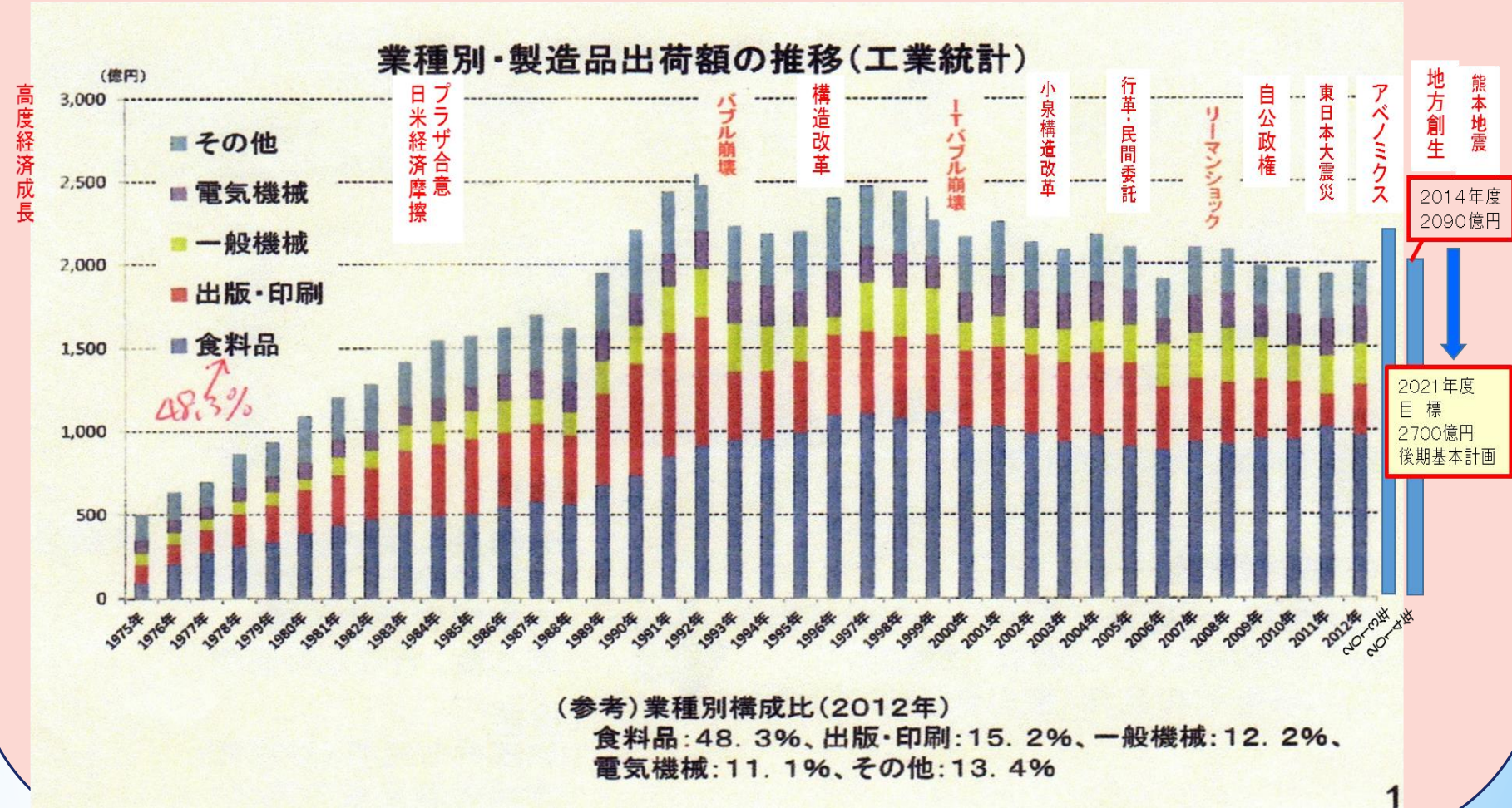
健康づくり100人ワークショップ(年8回)



**健康と地域
ビジョン**
(奴間健司提案)

- ① 健康で安心して暮らせるまち
- ② 子育て、子育て、若者の希望
- ③ にぎわいと活力・農商工連携
- ④ 防災・防犯・環境・平和
- ⑤ 文化・スポーツ・生涯学習
- ⑥ 計画的行財政運営・市民参画

製造業、ものづくり力
食品加工業の比率



健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

- ①健康で安心して暮らせるまち
- ②子育て、子育ち、若者の希望
- ③にぎわいと活力・農商工連携
- ④防災・防犯・環境・平和
- ⑤文化・スポーツ・生涯学習
- ⑥計画的行財政運営・市民参画

工業出荷額は
県内9位
食品は
県内2位

工業出荷額(県内上位市町村)

		製造品出荷額	事業所数	従業員数	主要進出企業
1	北九州市	212,886,391	1,133	51,964	新日鉄住金、TOTO、安川電機、三井ハイテック
2	苅田町	127,861,571	69	8,850	日産自動車九州、トヨタ自動車九州
3	富若市	91,326,986	61	9,673	トヨタ自動車九州、トヨタ紡績九州
4	福岡市	56,602,019	892	21,283	アサヒビール、パナソニック
5	筑紫野市	38,695,625	69	2,061	JT、ヤクルト、キャタピラー九州
6	久留米市	29,037,243	465	12,460	ブリヂストン、ダイハツ九州、ムーンスター、大電
7	朝倉市	27,798,786	125	4,938	麒麟ビール、ふくれん、マルエ醤油
8	大牟田市	25,093,927	157	6,938	三井化学、三井金属、デンソー九州
9	古賀市	19,724,065	105	8,492	山崎製パン、ハウス食品、ニビシ醤油
10	飯塚市	14,240,908	190	6,720	麻生、日本タンクステン、サンヨー食品
11	直方市	13,725,805	163	6,129	オムロン直方、フタバ産業、もち吉
12	行橋市	12,270,098	95	4,912	TOTO、ローム、安川電機
13	筑後市	11,280,664	118	5,154	日清製粉、DNP
14	新宮町	9,280,608	76	4,114	フランソア、石村萬成堂、ミツカン
15	八女市	8,816,712	211	3,711	明治乳業
16	豊前市	8,422,844	59	3,835	豊前東芝エレクトロニクス、松本工業
17	みやこ町	7,536,605	39	2,247	ユニプレス九州、大井製作所
18	鞍手町	6,689,627	61	2,416	大和ハウス、タカラスタンダード
19	柳川市	6,635,448	171	3,496	タンガロイ
20	田川市	5,876,522	60	2,574	麻生セメント、チロルチョコ
21	宇美町	4,399,497	101	2,268	
22	広川町	4,332,477	62	2,350	
23	嘉麻市	4,306,634	86	2,363	
24	筑前町	4,115,935	43	1,855	
25	大川市	3,973,160	289	3,124	
26	大野城市	3,945,739	140	3,250	
27	太宰府市	3,829,209	33	963	
28	うきは市	3,633,013	67	1,708	
29	粕屋町	3,523,848	60	1,760	
30	小郡市	3,516,454	21	1,479	
37	福津市	2,340,220	34	1,713	キューヘン、名糖産業、プライムデリカ

ものづくり力は古賀市の強み

・自動車関連産業(赤字)を抱える市町村が上位を占める傾向が顕著
・次いで、食料品、飲料のウエイトが高い市町村が上位

News Release



2017年4月17日

福岡県古賀市とのコラボ!

ハウス「うまかつちゃん」×「焦がし醤油とんこつ」

九州・沖縄地区および山口県で5月8日から数量限定発売!

ハウス食品は、九州を代表する食品「うまかつちゃん」の新アイテムとして、ハウス「うまかつちゃん」×「焦がし醤油とんこつ」を、九州・沖縄地区および山口県で5月8日から数量限定発売いたします。

今回のアイテムは「うまかつちゃん」の製造工場所在地である「古賀市」とのコラボ商品です。このコラボを通じて、うまかつちゃんが地元・九州で製造されているブランドであることを改めて発信するとともに、古賀市の魅力をパッケージを活用してお伝えしていきます。

古賀市では、「焦がし」を「古賀市」にかけて、長く愛がしたり愛ったりした香ばしい風味を特徴とする商品を古賀市ブランド「焦がし商品」として認定しています。この度のハウス「うまかつちゃん」×「焦がし醤油とんこつ」の「焦がし商品」の認定をいただきました。

■ハウス「うまかつちゃん」×「焦がし醤油とんこつ」

【味覚特徴】

とんこつベースに、焦がした醤油の香ばしい香りとうまみを合わせた、コクのあるおいしいとんこつラーメンがお楽しみいただけます。(焦がし醤油の香ばしさに特科専用)



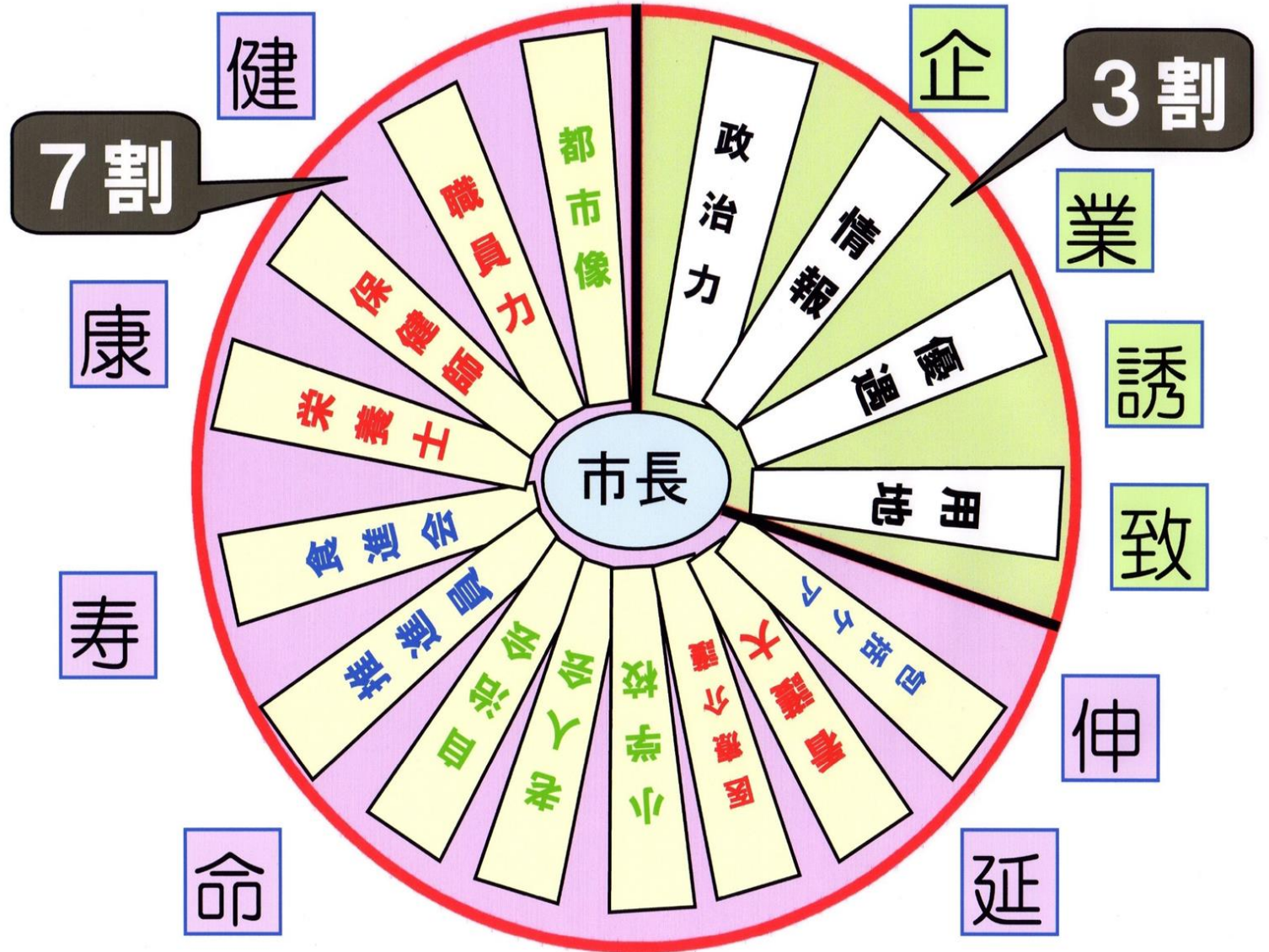
九州地区のお問い合わせ先: ハウス食品グループ本社広報 1-81-03 (5211) 6039 (朝日/産経/読売/毎日/中国) 各新聞社のお問い合わせ先: ハウス食品グループ本社広報 0120 (52) 1231

ハウス食品グループ本社株式会社 東京本社 〒102-8588 東京都千代田区紀尾井町 6-3 大阪本社 〒577-8588 大阪府東大阪市南園町 1-4-7

健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

- ①健康で安心して暮らせるまち
- ②子育て、子育ち、若者の希望
- ③にぎわいと活力・農商工連携
- ④防災・防犯・環境・平和
- ⑤文化・スポーツ・生涯学習
- ⑥計画的行財政運営・市民参画

- ①企業誘致推進本部
 - ②健康づくり推進本部
- 二つのエンジンで
古賀市の未来を切り拓く
医療・健康関連産業の誘致



健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育て、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

たったこれだけ！

地方創生加速化交付金
1025万2千円を
使って調べた結果報告
(4月27日提出)

- ①新たな工業団地
- ②製造業の力をさらに
みがきあげる

古賀市企業情報収集業務委託 結果概要

1. 回収率

- ・市内企業 53.4% (183社/343社)
- ・市外企業 36.2% (3,620社/10,002社)

2. 立地する場合に必要と考える主な立地環境

- ・交通利便性
- ・用地の価格
- ・労働力の確保
- ・得意先の立地状況

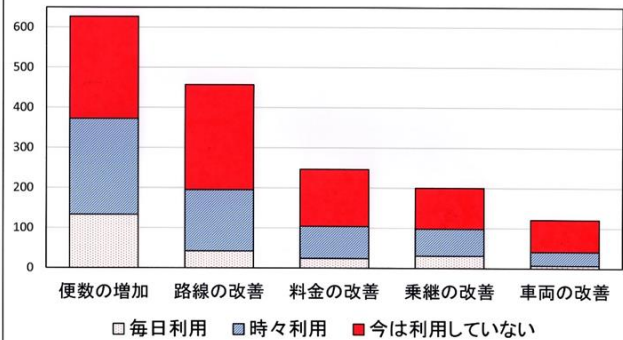
3. 古賀市に立地する場合に必要と考える主な立地環境

- ・上水道が整備されていること
- ・下水道が整備されていること
- ・九州自動車道古賀IC 乗入口からの距離
- ・国道3号沿線であること

健康と地域 ビジョン (奴間健司提案)

- ①健康で安心して暮らせるまち
- ②子育て、子育て、若者の希望
- ③にぎわいと活力・農商工連携
- ④防災・防犯・環境・平和
- ⑤文化・スポーツ・生涯学習
- ⑥計画的行財政運営・市民参画

古賀市内の路線バスに対する改善要望



西鉄 4月ダイヤ改正



西鉄が4月1日のダイヤ改正で古賀市内を走る路線バスを減便させたことに対し、これまで路線の改善や増便を求めていた市議会が不満を募らせている。3月定例会では西鉄への運行補助費約4千万円を計上した2017年度一般会計当初予算案を可決したものの、減便について「市民の利便性が損なわれ、利用者が減ると区発の車が上がった。地域の高齢化が進む中、特に交通弱者の高齢者の足をどう守るのか、市は模索を続ける。」(上野洋光)

補助金支出認め苦言 「市民の声反映を」

バス路線の赤字補填を理由に古賀市が15年度から始めた西鉄への運行補助費は年々拡大、西鉄から路線廃止を通告された08年度は約2400万円だったが、一昨年度は3700万円、17年度予算にはさらに上乗せした額を計上した。

「路線の改善、便数増を求め、今年3月に中村隆史市長に「利用者の声を反映させ、路線の見直しや便数増を改善するべきだ」と提言したばかりだった。

古賀市と隣接する新宮町はバス路線の一部廃止を受け、03年度からコミュニティバスの運行費用として年間約5千万円を支出する。古賀市は新宮町の約2倍の面積。市幹部は「餅は餅屋、4千万円で運転手の

高齢者の足確保へ模索

バス路線の赤字補填を理由に古賀市が15年度から始めた西鉄への運行補助費は年々拡大、西鉄から路線廃止を通告された08年度は約2400万円だったが、一昨年度は3700万円、17年度予算にはさらに上乗せした額を計上した。

「路線の改善、便数増を求め、今年3月に中村隆史市長に「利用者の声を反映させ、路線の見直しや便数増を改善するべきだ」と提言したばかりだった。

古賀市と隣接する新宮町はバス路線の一部廃止を受け、03年度からコミュニティバスの運行費用として年間約5千万円を支出する。古賀市は新宮町の約2倍の面積。市幹部は「餅は餅屋、4千万円で運転手の

バス減便 古賀市議会反発

利用実態を調べ、利用者の声を聞いた買い物通院、通勤通学で日常的な利用者がある層を占め、特に高齢者の利用が多く、JRや国道の3号を走るバスとの接続、路線の改善や増便を求め、市議会は「利用者離れにつながり、悪循環を招きかねない減便については慎重な取り扱いを求める」と、今年3月に中村隆史市長に「利用者の声を反映させ、路線の見直しや便数増を改善するべきだ」と提言したばかりだった。

古賀市と隣接する新宮町はバス路線の一部廃止を受け、03年度からコミュニティバスの運行費用として年間約5千万円を支出する。古賀市は新宮町の約2倍の面積。市幹部は「餅は餅屋、4千万円で運転手の



西鉄バス発車予定時刻表・古賀駅東口・平日
2017年4月1日のダイヤ改正による減便の状況

行先番号	6	7	2017年4月1日 減便数
行先	グリーンパーク 市役所・工業団地	舞の里 東医療センター	薦野 サンコスモ
5			
6	59		0便⇒1便 1便増
7			1便⇒0便 1便減
8	15		1便⇒1便
9	26	31	3便⇒3便
10	30		1便⇒1便
11			
12			1便⇒0便 1便減
13	03		2便⇒2便
14		06	1便⇒1便
15	10		1便⇒1便
16	12		1便⇒1便
17		26	2便⇒1便 1便減
18	00		2便⇒1便 1便減
19	55	01	2便⇒1便 1便減
20			1便⇒0便 1便減
21			
22			1便⇒0便 1便減
バス会社	13便⇒9便 4減便	5便⇒4便 1便減	2便⇒2便 増減なし

改善方法はないだろうか？

- ①循環型へのルート改善
- ②1時間に一本の定時運行
- ③空白時間帯の補完手段
(ミニバス、コミュニティバス)

健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

①健康で安心して暮らせるまち

②子育て、子育て、若者の希望

③にぎわいと活力・農商工連携

④防災・防犯・環境・平和

⑤文化・スポーツ・生涯学習

⑥計画的行財政運営・市民参画

駅、市役所、サンコスモ、
スーパー、病院を結ぶ
小回りのきく交通手段

サンコスモ古賀に行くためのバスは何本あるか？ (平日)

①古賀駅東口からサンコスモ古賀に行くバス 3本のみ

古賀駅東口 9時00分発、13時45分発の2本
古賀駅前（西口）12時11分発の1本

②サンコスモ古賀から古賀駅方面に行くバス 4本のみ

サンコスモ古賀

9時22分（古賀駅前）、11時07分（古賀駅東口）
12時09分（古賀駅前）、15時20分（古賀駅東口）の4本

4月1日からシャトルバス廃止

(市役所～サンコスモ古賀～ひだまり館)

**健康と地域
ビジョン**
(奴間健司提案)

- ①健康で安心して暮らせるまち
- ②子育て、子育ち、若者の希望
- ③にぎわいと活力・農商工連携
- ④防災・防犯・環境・平和
- ⑤文化・スポーツ・生涯学習
- ⑥計画的行財政運営・市民参画

公共交通は
まちづくりの血管
市が企画立案し、
民間に運転管理を
願います



赤字補てん方式 (4 1 5 2 万 1 千 円)

↓
公設・民間委託方式へ

健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

- ①健康で安心して暮らせるまち
- ②子育て、子育ち、若者の希望
- ③にぎわいと活力・農商工連携
- ④防災・防犯・環境・平和
- ⑤文化・スポーツ・生涯学習
- ⑥計画的行財政運営・市民参画

中村隆象市長の答弁
「発表会、報告会を行う
考えはない」
「全国でやっているところ
は多くない」
「議会での吟味に精力を
注ぐ」

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

施政方針
グラントデザイン
発表会

市長説明

部長説明

市民審査

市長
結果報告

部長
結果報告

市民評価

市民100人委員会
各部に対応し毎月1回開催

施政方針
グラントデザイン
報告会

健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

- ①健康で安心して暮らせるまち
- ②子育て、子育ち、若者の希望
- ③にぎわいと活力・農商工連携
- ④防災・防犯・環境・平和
- ⑤文化・スポーツ・生涯学習
- ⑥計画的行財政運営・市民参画

中村隆象市長の答弁
「新たな作業がこれだけ
増えると職員のモチベー
ションが上がるものかど
うか」

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

施政方針・グラウンドデザイン発表会

市役所各課
前年度の実績報告書

サマー・デイスカッション

決算議会

予算編成説明会

市長記者会見

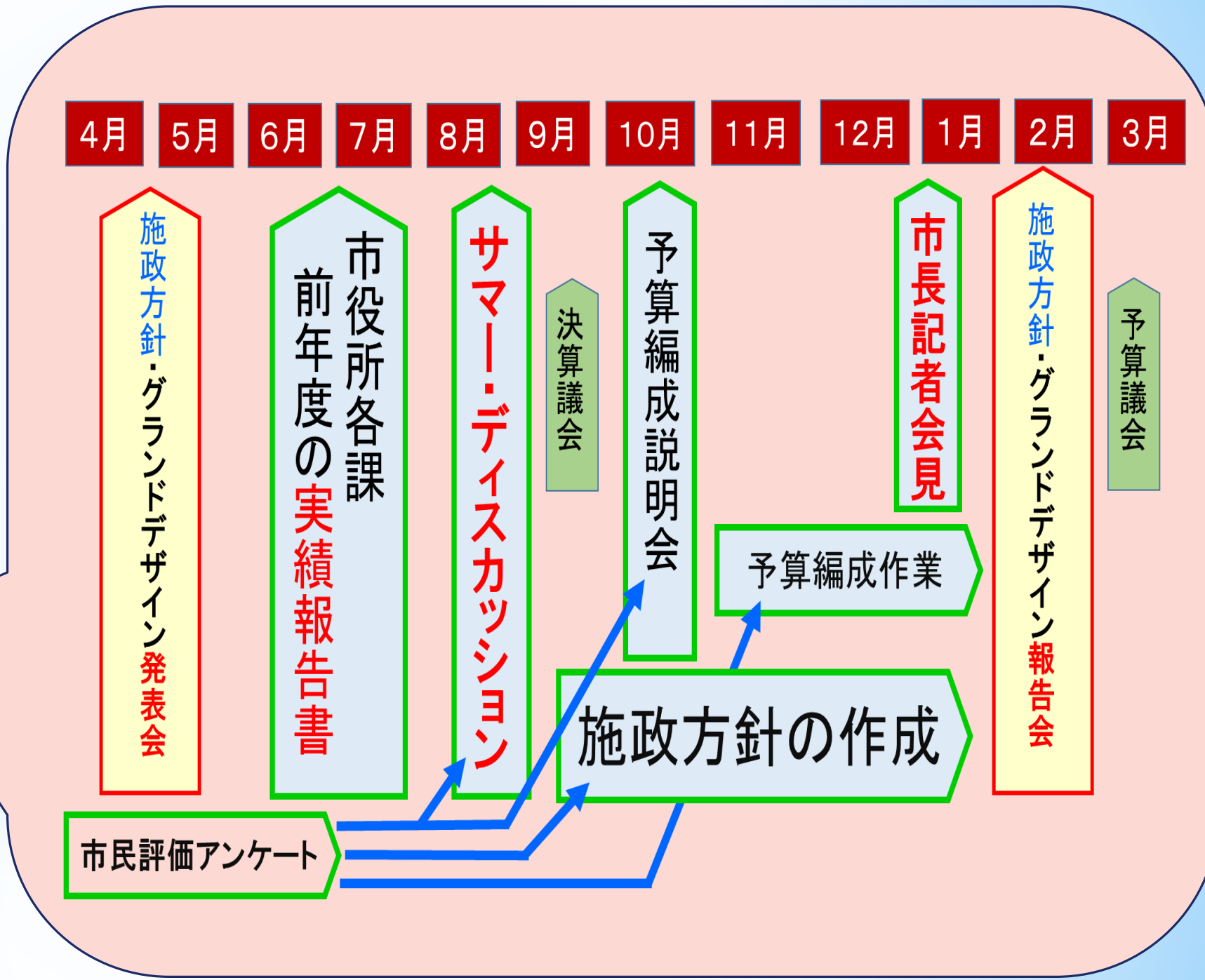
施政方針・グラウンドデザイン報告会

予算議会

予算編成作業

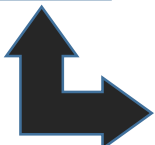
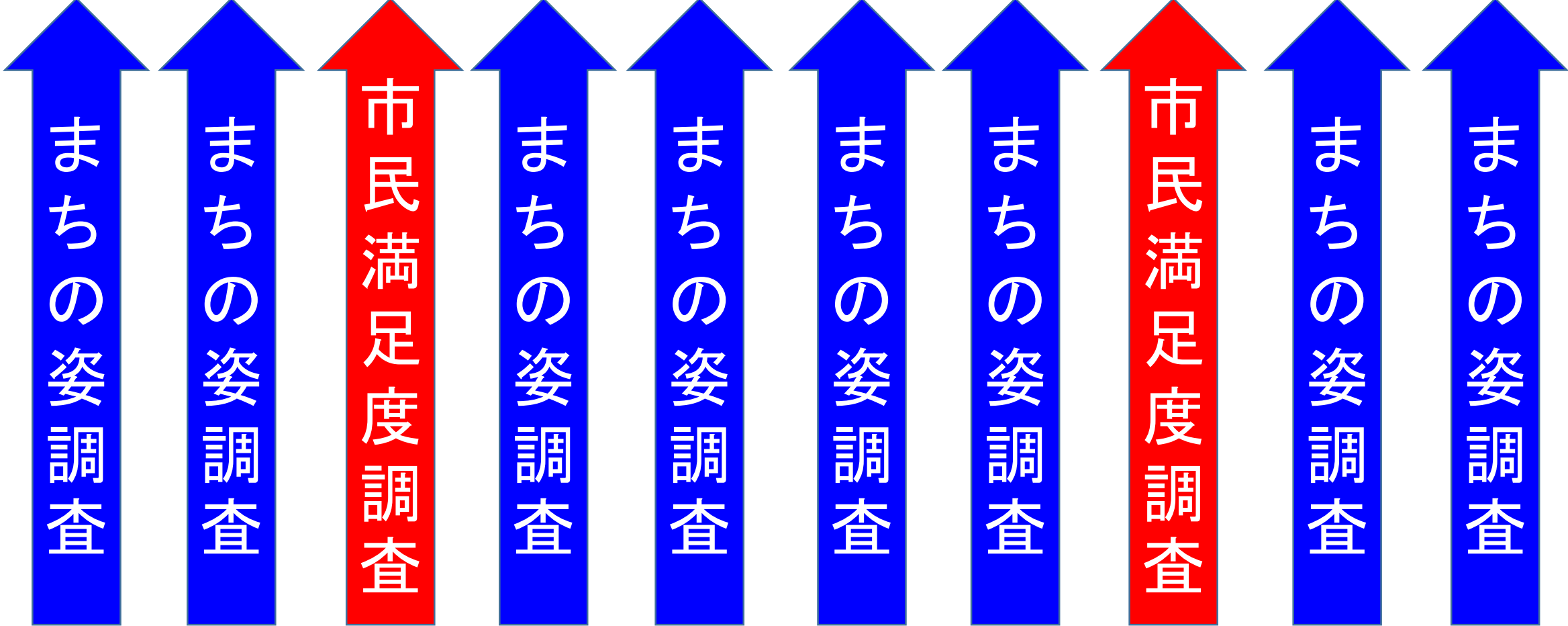
施政方針の作成

市民評価アンケート

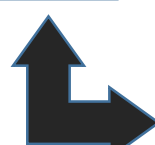


まちづくりにも「定期健診」が必要

2012年 2013年 2014年 2015年 2016年 2017年 2018年 2019年 2020年 2021年



実施計画
に反映



基本計画の
検証に反映

古賀市は2007年に実施のみ

健康と地域
ビジョン
(奴間健司提案)

- ①健康で安心して暮らせるまち
- ②子育て、子育て、若者の希望
- ③にぎわいと活力・農商工連携
- ④防災・防犯・環境・平和
- ⑤文化・スポーツ・生涯学習
- ⑥計画的行財政運営・市民参画

市民の評価を定期的に把握することが基本中の基本
把握方法に工夫が必要

満足度 アンケート

5年に1度

毎年実施

まちの姿 アンケート

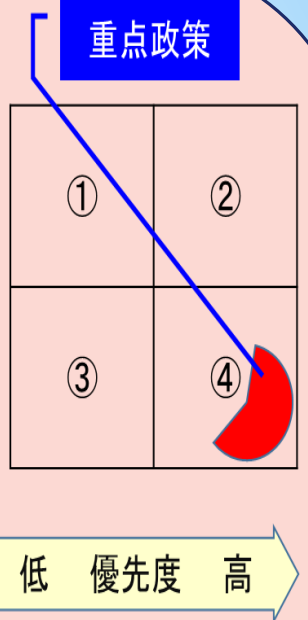
- (1)健康・福祉
- (2)安全・安心
- (3)都市基盤整備
- (4)生活環境
- (5)産業・経済
- (6)教育・文化・スポーツ

私たちのまちでは、「子育て」の課題に積極的に取り組む活動や子育て支援のプログラムが充実し、安心して子どもを産み育てられる環境が整っている。

満足している
まあ満足している
あまり満足していない
満足していない

重要である
まあ重要である
あまり重要ではない
重要ではない

高
満足度
低



十分達成されている	18
ほぼ達成されている	92
まあまあ達成されている	188
あまり達成されていない	79
ほとんど達成されていない	22
無回答	21
合計	420
達成度	3.0

尊敬するリーダー

1960年代の岩手県沢内村の実践に学ぶ



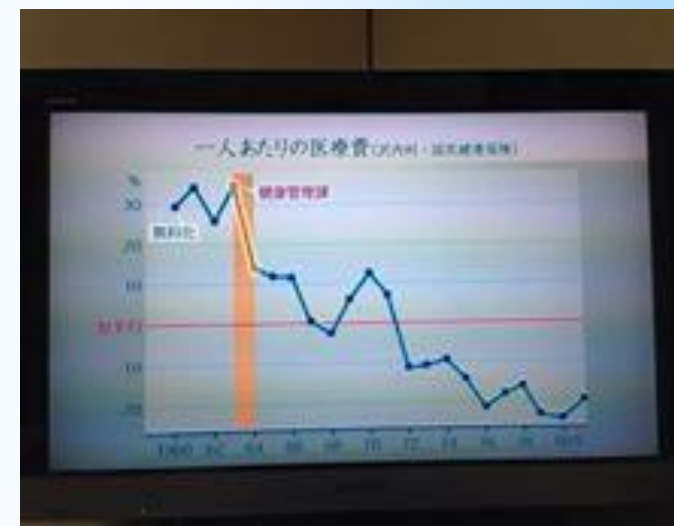
「村民の生命を守るためには命を懸ける」

「国がやらないなら私がやる」という政治理念にもとづき医療費の無料化を行った岩手県沢内村の深沢晟雄（ふかさわ まさお）村長



沢内村の生命行政を支えた保健師の活動

乳児死亡率ゼロを達成した原動力が保健師



医療費無料化の後、健康管理課（医師が課長で保健師等で構成）を設置し、村民の健康データをすべて集め、医療費を削減することができた

尊敬するリーダー



健康寿命延伸都市・松本



菅谷市長を表敬訪問

「市長は戦略を語り、肉づけは職員が頑張ってくれる。あとはほめるだけ。」

「医療人としての視点」

「金太郎飴の政策。地方が国を変える。地方から世界に発信する。」

※市長学を学べたことは大きな収穫だった。

2015年10月20日

フリートーク

おしゃべりタイムです

- ①調べる
- ②伝える
- ③変える

ご質問
ご相談

ご意見
ご提案

ふれあい集会
ビデオ取材

6月定例議会の一般質問
6月19日(月)、20日(火)、21日(水)
ぜひ傍聴にお越し下さい!